

一般会計決算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、平成29年8月29日に文教福祉分科会を開催しました。

認定第1号 平成28年度総社市一般会計歳入歳出決算認定

～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、全員一致で**認定**すべきであると取りまとめることに決定。

～質疑～

問：小児医療費が昨年度に比べ増えている。以前2億5千万円が境界線だと言われていたが、将来どのように考えているのか。

答：平成24年度に医療費適正化委員会で、境界線を超えた場合は個人負担も考えてもらうと話をしたこともあるが、市民からは中学生までの無料化を望む声も多い。全体的に医療費はあがってきており、委員会の中で協議をしている最中である。

問：禁煙外来治療をした人と、そのうち成功した人は何名か。

答：平成28年度に禁煙外来助成をしたのは21名である。全員は調査できていないがアンケートによると、禁煙を継続している方は10名、もう喫煙している方は1名である。

問：はばたき園の療育相談は何人が相談に来ているか。

答：平成28年度は、総合検診は年5回開催し延べ49名参加、療育相談指導教室、総社P.E.Cは年29回開催し延べ556名参加である。

問：日中一時支援事業での事業所の療育内容が、事業所ごとに差があると思うが現場を見ることはあるのか。また、内容によって委託料に加算することはできないのか。

答：事業所は市外も合わせて40少々ある。申請が出てきたときには、内容や現場を審査してから許可を出しているが、許可後は施設を定期的に訪問することは少ないので、今後は定期的に訪問するよう努めていきたい。

問：不妊治療費助成は50件とあるが、何%妊娠したのか。

答：50人は延べ人数で、実質は38人に助成している。妊娠されたのは19人で、50%である。

問：障害児の通学支援を考えてはどうか。

答：本年度から、派遣登校支援員を配置している。派遣登校支援員であれば学校間を越えて支援することが可能となるので、ニーズを聞きながら対応していきたい。

問：昭和地区等英語教育推進事業費が大幅に上がった理由は何か。

答：英語特区としての増額は、池田地区と新本地区が特区になったことに伴い、ALT（外国語指導助手）の配置が増加になったためである。

問：ごみの処理委託料について高いと思うが、値段・業者については安くなるように協議したことがあるか。

答：現在ごみの業者については一者随意契約という形で行っている。予算編成の時期には、ごみの量や金額について業者と話し合いを行いたい。

問：私立保育所運営委託事業で、同じ定員で委託料に差があるがなぜか。

答：待機児童受入れのために定員の弾力化というのがあり、定員90名でも定員の120%受け入れているところもあり、利用人数に対する運営費ということで金額が異なっている。事業所内保育所については地域枠と事業所枠があり、事業所枠に空きがあり入れてもらっている場合は金額が高くなる。

問：市外の保育所に何人行っているのか。

答：市外の保育所は私立保育所8園と事業所内保育所5園で23名、公立保育所には2園で4人通っている。昨年度待機児童解消のため市外の保育所に受入れをしてもらっている。

問：障がい児保育支援事業で1人受入れにつき月額3万円となっているが、人数によっては保育所にかかる負担が大きいのではないか。中身は精査しているのか。

答：対象児が1人だけという保育所は2園ある。受入れ人数が少ないと保育士を雇用するには金額が不足することは認識している。今後園の状況も把握しながら検討していく。

問：図書館の団体貸出用教材のDVDの金額が高いと思うがなぜか。

答：子ども映画会で上映するためのDVDである。DVDの金額だけでなく、一般に上映するための著作権料が含まれているためである。

問：吉備路文化館の来場者増加のためのPRの計画はあるか。

答：今年秋に行う予定の高木聖鶴先生追悼展など、企画をいろいろ行い集客に努めたい。

問：こどもの教育の場として美術館的なものは重要な施設だと思うので、吉備路文化館で本物の絵を見せて模写をしてもらってはどうか。

答：今年の夏休みにこども美術館を開催している。またスケッチ体験も開催し多くの希望者があった。引き続きこういう機会を設けていきたい。

問：ご当地体操のDVDを作成しているが、どのように広報していくのか。

答：スポーツ推進委員会が中心となり作成している。広くお配りしたり、ケーブルテレビでの放送等いろんな機会を設け披露していきたい。